

ビジネスネットワーク支援・受発注 開拓事業

施策のポイント

平成12年度から、行政と地域の中小企業が共同で「飯田ビジネスネットワーク支援センター」を立ち上げ、地域の課題である「環境」・「安心安全なまちづくり」・「産業の活性化」の視点から産官連携により新たな製品（LED防犯灯）を開発し行政自らが、全国の市町村に対してセールスを行い、製品の販路拡大を支援している。

自治体情報

長野県飯田市

人口	106,630人	標準財政規模	26,102,000千円
担当課	工業課		
電話番号	直通 0265-22-5644 代表 0265-22-4511 内線 4433		
実施主体	(財) 飯伊地域地場産業振興センター		
関連ホームページ	http://www.city.iida.lg.jp/iidaspypher/www/info/detail.jsp?id=4729		
事業期間	平成21年度		
参考とした施策			
関係施策分類			

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

背景

当市は、2009年1月に環境モデル都市に指定され、環境に対する様々な取り組みを行う中で、平成21年度～平成26年度にかけて、市内に約6,000ある防犯灯のLED化が計画されていた。平成21年度には約3,000カ所をLED化することが決まっていた。危機管理部から産業経済部工業課へLED防犯灯導入について相談を受けたことがきっかけとなり、危機管理部と産業経済部が連携して、LED防犯灯の開発に取り組むこととなった。

目的

LED防犯灯製品の共同開発の目的

- (1) 環境文化都市の実現（既存の防犯灯に比べ消費電力が約2/3となり、二酸化炭素の削減が可能、電気料金の低減、保全（コスト）費用の軽減
- (2) 産官連携による新たな産業分野へのチャレンジと飯田下伊那地域の産業活性化
- (3) 市役所の部署間（工業課、危機管理・交通安全対策室、地球温暖化対策課）の連携
- (4) 緊急経済対策

2 取り組みの具体的内容

共同受発注グループ（(財)飯伊地域地場産業振興センターに所属）に依頼し、2つの企業グループ（計18社）が取り組みを開始し、LEDの特性を生かし、コスト・規格・デザイン等の様々な課題を解決し、2機種の製品開発に成功しました。

- 5月 22日 工業課から「飯田ビジネスネットワーク支援センター」の案件依頼
- 5月 26日 ネスクーイイダ会員への説明開催
- 6月～7月 製品開発
- 7月 27日 最終試作品完成
- 9月 24日 製品お披露目（記者発表）
- 12月～ LED防犯灯の市内設置工事開始
- 1月～ 全国市町村への発送及び引き合いのあった自治体への訪問



3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ・ 企業の製品開発力の強化
- ・ 企業間の連携風土の醸成
- ・ LED 防犯灯製品 2 機種の開発

4 現在までの実績・成果

LED 防犯灯の製品開発により、複数の企業が連携し共同開発につながったことや地域と企業が一体となって取り組むことができたことは大きな成果であり、中小企業を取り巻く環境が厳しい中で、地域経済活性化につながる取り組みができた。

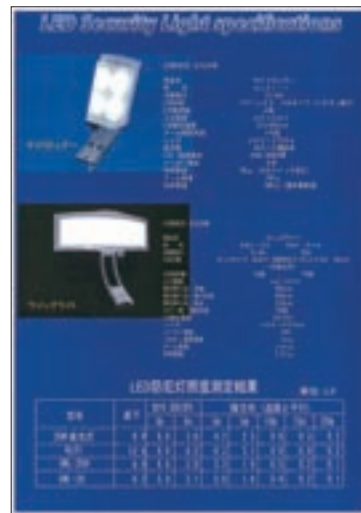
LED 防犯灯設置 市内 3,000 カ所
 他市町村への売り込み実績 2 町村 150 基

5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

企業 OB によるコーディネーターを配置して、企業の専門的な技術課題の解決に取り組むことで、短期間での製品開発に成功した。

6 今後の展開と課題

産官が連携しながら、地元への普及と地域外への積極的な販路開拓を考えている。



予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
2,520 千円		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	2,520 千円
①～④の名称、 所管など	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					